

ありがとうございました
賛助会員様

株式会社 大垣 共立銀行
イビデン株式会社
西濃運輸株式会社
太平洋工業株式会社
河合石灰工業株式会社
揖斐川工業株式会社
岐建株式会社
矢橋工業株式会社
サンメッセ株式会社
大垣西濃信用金庫
日本耐酸壘工業株式会社
岐阜倉庫運輸株式会社
大垣瓦斯株式会社
株式会社 ホンダカーズ東海
クインテッサホテル大垣
株式会社 大光
株式会社 三輪酒造
株式会社 アレックカワイ
オイダ額縁有限会社
ギャラリーはたの
金蝶園総本店
有限会社タケナカ商店・タケナカ文房具店
株式会社 大垣ケーブルテレビ
小菅巧芸社
医療法人 石泉会 和田医院
山川医院
株式会社 箕浦
安田電機暖房株式会社
株式会社 エヌビーシー
株式会社 大垣自動車学校
株式会社 セリア
株式会社 小川紙店



大垣美術家協会

編集後記

表紙デザインのコセプトは、「飛躍」です。今後も大美協が次世代へと繋がっていく様子を、左上へ目線が上がっていく、伸びやかな構図で表現しました。

昨年、11月の理事会において、会報の表紙についてイメージの変更をお伝えしました。令和2・3年度Vol.62号以来、風景画写真となったのは、コロナ禍により、外出することが難しく、せめて会報だけでも外の気分をと変更しました。

あれから5年が過ぎ、一昨年のコロナ5類扱いを踏まえ、今号は美術性を考え、デザイン様式としました。

皆様のご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。

会報委員

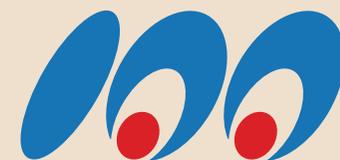
日本画 村瀬 順子
洋画 小薮 達也 (副代表)
書道 早崎 青仙
彫塑工芸 山口 實 (代表)
デザイン 吉田 直弥 [表紙]
写真 水谷 博光

[発行月] 令和8年2月
[発行] 大垣美術家協会
[印刷] サンメッセ株式会社

OGAKI
ARTISTS
ASSOCIATION

大垣美術家協会

2025 令和7年号
VOL.
66



大美協 会報

大垣美術家協会 HP
<https://ogaki-aa.art>



大垣美術家協会 facebook





大垣美術家協会 会長

境 敏幸

大垣美術家協会は1959年の創立以来、65年以上にわたり地域の芸術文化を支え、その発展に寄与するべく会員の皆様とともに歩んでまいりました。皆様の創造力と情熱がこの協会の原動力であり、地域の美術文化を豊かにする大きな力になっています。

今年度も、「大美協展」や「西濃美術展」「大垣市美術展」をはじめ様々な展覧会やイベント活動を通じ、地域の方々に美術文化の魅力を伝えてまいりました。来場者の皆様から「大垣の美術文化の深さに感動した」「日常の忙しさを忘れてじっくり作品を鑑賞することができた」などのお声をいただき、私たちの活

動が地域に根付いていることを実感しています。これもひとえに会員の皆様のご尽力の賜物です。

また、昨今の社会情勢の変化により、芸術活動のあり方が問われる時代になっています。こうした中で、私たちが果たすべき役割は、単に作品を創るだけでなく、地域や社会に対し新たな価値を提案し、心の豊かさを育むことだと考えております。皆様の作品が、観る人々の心に響き、地域の文化を彩る存在であることを誇りに思います。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝と益々のご活躍を心からお祈りいたします。



大垣市長

石田 仁

この度は、「大垣美術家協会会報」第66号が刊行されますこと、心からお慶び申し上げます。

大垣美術家協会におかれましては、昭和34年の創立以来、「大垣市美術展」など市内の美術展に毎年数多くの作品をご出品いただき、洗練された表現活動を通して、本市の文化芸術の向上・発展に大きく寄与していただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、生涯学習の分野におきましても、成人学校をはじめ、様々な場所で講師を務めていただくなど、芸術文化の普及振興にもご支援を賜っており、大変心強く思っております。

本市といたしましても、豊かな感性と創造性を育む「文化の薫り高いまち」を目指し、芸術文化事業の推進に取り組んで参りますので、皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、大垣美術家協会の更なるご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



大垣美術家協会 理事長

久野 悟

「文化の薫り高いまち」づくりに美術は重要な役割があります。しかし、少子高齢化、定年延長、働き方改革、AIなど、社会の変化は著しく、美術界を担う年代層も、10年前は60代70代が大半、現在は70代80代が大半であり、10年後を想像すると危機感が募るばかりです。

そんな中、今年度は西濃美術展の出品者拡大を図ってきました。作品規格の見直しや若い世代が取り組む分野への働きかけ等の結果、出品数（参加者数）は前回197点でしたが、今回は364点に。出品数に比例して鑑賞者の数も増えました。次回は家庭で飾れる作品400点以上を目指した働きかけ、皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

願いは、「県民1スポーツ」の対として「県民1カルチャー」「県民1アート」です。

- 絵でも書でも工芸でも写真でも、何でもいい
- 著名人・知人・家族・自分、誰の作品でもいい
- 公私を問わず、全ての建物・各個人宅に作品が1点以上飾ってある

それが「文化の薫り高いまち」の美術としての「豊かな心に見える化」です。

2025年(令和7年度) 第67回 大垣美術家協会展

ワンフロアーで開催
5月15日(木)～5月18日(日)
 大垣市スイトピアセンター
 文化会館
 4階 A・B・C

- 出品点数 7点
- 招待出品 ……………12点
 - 日本画 ……………48点
 - 洋画 ……………43点
 - 書道 ……………17点
 - 彫塑工芸 ……………8点
 - デザイン ……………38点
 - 写真 ……………173点
- 合計 ……………
- 入場者数/658名

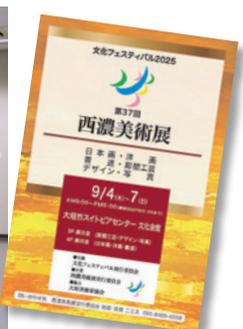


協力事業

文化フェスティバル2025 第37回 西濃美術展

作品の規格変更
9月4日(木)～9月7日(日)
 大垣市スイトピアセンター
 文化会館
 3階 A・B・C
 4階 A・B・C

- 出品点数
- 招待出品 ……………7点
 - 日本画 ……………29 (16)点
 - 洋画 ……………148 (97)点
 - 書道 ……………60 (22)点
 - 彫塑工芸 ……………39 (19)点
 - デザイン ……………25 (17)点
 - 写真 ……………56 (21)点
- 合計 …… 364 (192)点
 ※()は一一般
- 入場者数/1,426名





自己紹介

1944年 旧満州奉天(現瀋陽)市生まれ
1946年 引揚げ後、大間を皮切りに大垣、現在の岐阜と16回引越し 無住心?
1968年 東京藝術大学油絵科卒業この年結婚、壁画制作のため大垣市に6年間住むこの間個展、グループ展、壁画制作、大垣で大人と子どもの絵画教室
1974年 岐阜へ 自宅で絵画教室
1978年 岐阜県美術館準備室に参加
1992年 愛知県美術館開館記念展出品
2003年 岐阜県美術館館長に(～2015年まで) ニューヨーク、メトロポリタン美術館で「ORIBE展=日本美術の転換点」開催
2004年 ミュンヘンで「日本の伝統文化」展
2012年 岐阜国体記念「シャガール」展
2015年 岐阜県美術館退職 OKBギャラリー館長
2021年 JR岐阜駅北口問屋街130m壁画
2024年 岐阜市司町旧県庁舎保存運動
現在 OKBギャラリーおおがき館長 日本美術家連盟会員 モダンアート会員



◆はじめに

大垣に住んでいた35～36歳の時、文化会館で滋賀県の止揚学園の福井達雨園長の講演を聞きました。その時の忘れられない話。雪の日に、地元の理科の先生や子どもたちを呼んで授業をしました。その授業で、固体の雪が溶けると液体の水になる様子を子どもたちは目を輝かせて見ていました。翌日「雪がとけると何になりますか」と聞いたら、「雪がとけると春になります」と子どもたちが一斉に言いました。福井先生は科学的な正しさではなく、子どもたちの生活感覚の感性に驚き、それまで何を教えてきたのかと反省しました。が、雪の多い地域に住んでいる子たちにしてみれば生活の中で当たり前を感じていることでした。

岐阜に自宅を新築したとき、掘り返された庭の隅に大きな百合の花が咲いたのに気付きました。これまで毎年咲いていただろうことを再認識し、そんなことに無頓着だった自分とは無縁に、自然界の営みにある百合は黙って何事もなく咲くことに感動でした。

今日は「美の根っこにあるもの、美の概念」と「日常生活の中にある美のふれあい」について話したいと思います。

◆モダンアートと現代アート

モダンアートと現代アートは同じ意味のように使われがちですが、モダンアートは、画面構成などが「しゃれてるね」という意味のモダンです。一方、現代アートは、モダンアートも含めそれまでのアートを全面的に否定したものでコンテンポラリーアートとも言われます。一例として、高度な技法とか美しい画面構成ではない「あいちトリエンナーレ」の慰安婦像とか東日本大震災で被災した建築物の一部を展示するような、社会に訴える作品があります。作家としてはデュシャンやバンクシー、草間彌生、関根伸夫、小清水漸、李禹煥、宮島達夫、村上隆などです。それ以前のマネ、モネ、ピカソ、カンディンスキーや矢橋六郎、ここに見える皆さんも私も含めて大体モダンアートと言えるでしょう。

◆「無住心」をもって

私は満州で生まれ、16回引越しました。東京藝大ではモザイク画の矢橋六郎に師事。いやいや始めたモザイクでしたが、矢橋大理石が地元の大垣で岐阜国体のために40m位の壁画をつくっているのを見て、自身の2mほどの作品と比べ、ショックを受けました。1週間ほど矢橋大理石でのモザイク制作を手伝い、給金を受け取りました。卒業直前に矢橋先生の仲人で結婚、大垣の高屋町に住みましたが、矢橋大理石でのモザイク制作のアルバイトは年に数か月しかなく、名古屋まで出か

けて地下鉄工事もしながら6年過ごしました。

60歳のとき、出生地の満州奉天(現在の瀋陽)へ行きましたが、「ここは俺の故郷じゃない」と直感的に思いました。それ以来「俺には実家や故郷がない」劣等感のような卑屈さが長く心の底にありました。しかし、あるときからむしろ故郷がないという自由さ、おおらかさが生まれてきました。それをある人から仏教で言う「無住心」と言われました。こだわりなく、意識しないで生きていくという心地。岐阜県美術館長になったのも、そうした心があったからだと思います。

◆織部の独自性、面白さ

2002年9月11日のニューヨークテロ事件のため、メトロポリタン美術館で開催予定の「ORIBE展=日本美術展の転換点」がいったん中止に。しかし、ニューヨークの復興は早く、半年後に開催されました。そのとき館長になったばかりの私は、英文で図録の巻頭言に「出来損ないの美、歪みの美」について書きました。

焼き物に人の名前がついたのは織部(焼)だけです。ニューヨークでの織部展は、完全



織部茶碗《冬枯れ》(重文 徳川美術館蔵)

なものは面白くなくて、水の入らない水差し《破れ袋》のような不完全なもの、整った形より歪んだ織部茶碗が面白いといった画期的な展覧会でした。これは古田織部の師匠である千利休から引き継いでいます。

利休は茶碗をつくったこともない樂長次郎に瓦用の土で茶碗の制作を依頼。ゴツゴツした茶碗でしたが、「それがいい」と言って茶会で使いました。それがあつという間に日本中にそうした「新しい美」の考え方が広まりました。利休は、人の手の加わっていない自然の木を切ってきて床柱にし、2畳くらいの狭い茶室待庵を設計しました。利休は紙と土と木で、秀吉は黄金で茶室をつくりました。秀吉は利休を相談役にしましたが、そうしたよさが分からず、利休に嫉妬心を抱いていたため、二人の心はますます離れました。

代表的な織部茶碗《冬枯れ》はまるでミロのような発想を500年も前に日本でやっていたのか、とメトロポリタン美術館で評判になりました。信長の弟の織田有楽斎は、古瀬戸の向付と壊れた中国の磁器破片とを漆でつなぎ、それを面白がりました。それが今日、永青文庫所有の《銘 呼続》の名品です。



《銘 呼続》(永青文庫蔵)

《ぶどうりす蒔絵食籠》は漆に金の象嵌がしである作品。虫食い穴のある葉の図柄が正面に来るようにしています。

それまでの松竹梅や桜、桐などに替わって葡萄、たんぽぽをモチーフにしました。それは、明日死ぬかも知れないという戦国武将が、当時「何これ?」と言って一般の人に理解できないようなものを求めたからです。こうした面白いことが流行したのは、1580年から1615年までの30年余りの短い期間です。その期間が丁度キリスト教が日本に伝来し、数十年後に禁令されるのと一致していることが重要です。キリスト教の教えが「神の前ではみな平等」また「誰も完全な人はいない。罪があり、欠けだらけなのだ」という教えが桃山文化に底流していますね。



《ぶどうりす蒔絵食籠》

◆現代アートと織部の発想の共通点

関根伸夫の《位相 大地》は2m90cmくらい穴を掘った土と同じ形に横に土を積んだ作品。

これは1968年第1回須磨離宮公園現代彫刻展でグランプリを受賞。世界の彫刻家に決定的な影響を与えました。ヒントは銀閣の向月台。「本質的に人間は創造はできない。ただ人間はそれを作品で伝えることが大切なのだ」と主張しました。

県美の小清水漸《アララトの舟》はノアの方舟と題した作品で舟の中に水が入っています。同じく県美の李禹煥《関係項》は、原子炉の壁と同じ厚さの鉄板を長良川から持ってきた石で支えた作品。要するに作家は基本的に何もつくってはいないのです。

デュシャンは、1917年男性用便器に《泉》というタイトルを付け、その後のコンテンポラリーアート、つまり、芸術家がつくったものではなく、既製品を作品化するきっかけとなりました。

アンディ・ウォーホルは、誰もが知るマリリン・モンロー、スープ缶などを扱い、個性や作家の技法や構図などそれまでの芸術作品のあり方を完全に否定しました。



《位相 大地》



岐阜織維問屋街のビル壁

◆モダンアート、そして日常生活

県美には矢橋六郎、村井正誠(大垣市出身)、山口薫などモダンアートの作品があります。1955年中日ビルに矢橋が制作したモザイク作品(天井画)が新しいビルの壁に移され、大垣市役所や岐阜県庁の矢橋のモザイク画も新庁舎に移設されました。

私は虫もつかず鳥も食べないカラスウリをモチーフとして描いています。これは織部の発想に近いかも知れません。

岐阜市の織維問屋街のビルの壁に青空をデザインしました。下の方には通りすがりの人に丸いスタンプを押す、誰でもできる絵を描いてもらいました。

熊谷守一は関東大震災のときに避難所で「大地震 トンボゆっくり 飛んでいる」と詠いました。あの一大事にトンボを見る感性に驚いたのです。トンボが生きる力を与えた・・・

美 私を変えるものは日常生活の中にいっぱい輝いています。

今回、古川先生には、昭和57年、同60年と平成21年に続き、4回目の講演となりました。

2025年(令和7年度) 第74回 大垣市美術展

■ 10月18日(土)~10月26日(日)

■ 大垣市スイトピアセンター
アートギャラリー (学習館1階)

● 展示数: 194点

今回から会場が変更となりました。
ワンフロアということもあり、
作品が見やすく良かったです。



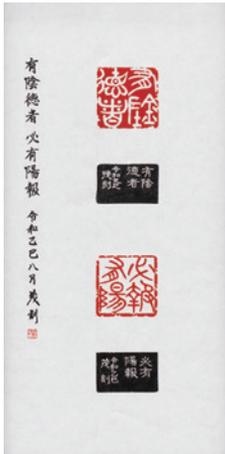
開場式テープカット



会場風景

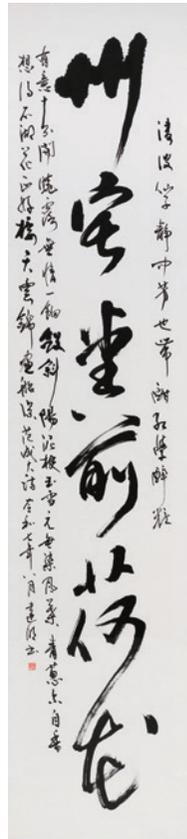
受賞おめでとうございます

書道



■ 議長賞
《有陰徳者必有陽報》
増井 茂

◆ 奨励賞
《心あてに》
原田 由美子



■ 市展賞 《州宅堂前荷花》
齊藤 達明

彫塑工芸



■ 市展賞
《能面 大会(釈迦・中戀見)》 大江 英



■ 市長賞 《彫り絵 渦》
吉田 佐代子



■ 議長賞 《彫り絵 清水寺》
増元 三好



■ 教育長賞
《能面 小獅子(金と赤)》
五井 恵子

◆ 優秀賞 《彫り絵 大垣市役所》
佐藤 直人

デザイン



■ 市長賞 《龍神~生生世世~》
紗蔵 蒼

日本画



■ 市展賞 《惣門》 古川 幸代

洋画



■ 市長賞
《凜として》 吉田 美幸

写真



■ 市長賞
《晩秋の里》
中野 淑人



■ 議長賞
《雨上がり》
小竹 久子

◆ 奨励賞 《雨の竹あかり》 北嶋 敏和
◆ 奨励賞 《祭りの準備》 江上 瑠美子



■ 市長賞 《ふしぎな花》
野村 恵美子



■ 議長賞 《静物-100》 飯沼 孝司

◆ 優秀賞 《花言葉:純潔》
藤田 初美
◆ 優秀賞 《巨木》
所 陽子
◆ 奨励賞 《躍動》
磯崎 裕子
◆ 奨励賞 《ピサの街》
高橋 温子

金沢21世紀美術館・兼六園 見学

猛暑の夏を避け、当日、小雨の中、昨年と同じ29名の参加をいただき、楽しく行ってきました。



兼六園蓮池門口にて



兼六亭にて昼食



和やか



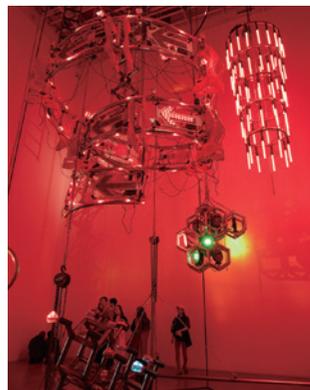
昼食御膳



球体のパビリオン「まる」



いざ展示室へ



展示A



展示B

【特別企画展】 文字の可能性



展示C



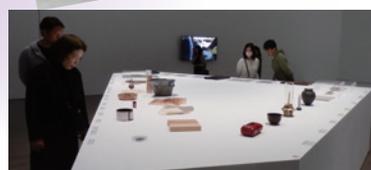
展示E



展示D



中庭から



市民ギャラリーAにて

大垣フォーラムホテル 3階 [IBUKI]

今年は新入会員7名を含め73名の参加があり、和やかな会となりました。



棚橋衆議院議員
ご祝辞



境会長挨拶



石田大垣市長
ご祝辞



久野理事長挨拶



参加された新しい仲間です。



ビンゴ景品
広重作 復刻手刷木版画 5名

令和7年3月1日(土)～3月2日(日)
村瀬太乙書画展 伊催 岩瀬桃谷書画展
代表 岩瀬 桃谷



令和7年3月21日(金)～3月23日(日)
養老町絵画教室作品展
代表 西脇 義照



令和7年4月10日(木)～4月13日(日)
第27回 遊画会展
代表 上田 貞也



令和7年6月20日(金)～6月22日(日)
第2回 西濃写真真クラブ写真展
代表 高橋 二三夫



令和7年6月20日(金)～6月22日(日)
第22回 大垣光遊会写真展
代表 佐々 寛己



令和7年6月23日(月)～7月14日(月)
第24回 水彩会展
代表 吉田 美幸



令和7年4月12日(土)～4月13日(日)
第49回 清雅会書展
代表 窪田 稲華



令和7年4月18日(金)～4月20日(日)
創彩会展
代表 磯部 範彦



令和7年4月18日(金)～4月20日(日)
百彩会水彩画展
代表 飯沼 孝司



令和7年7月5日(土)～7月6日(日)
第52回 西濃書道連盟会員展
代表 安田 弘峰



令和7年7月15日(火)～8月7日(木)
第12回 魅彩会展
代表 藤田 初美



令和7年7月24日(木)～7月27日(日)
第42回 ネオ・ダール展
代表 伊藤 文夫



令和7年4月24日(木)～4月27日(日)
第11回 OKB OBアート展
代表 磯崎 勝利



令和7年4月26日(土)～5月11日(日)
さぼてん村イラスト展
代表 如月 れいな



令和7年5月1日(木)～5月31日(土)
「滝音」の仲間たち展 Vol.2
代表 西脇 義照



令和7年8月1日(金)～8月29日(金)
第76回 垂井百景
代表 久野 悟



令和7年8月6日(水)～8月24日(日)
第4回 南美展
代表 西脇 義照



令和7年8月8日(金)～8月29日(金)
成瀬矢祖一水彩展
代表 成瀬 矢祖一



令和7年5月13日(火)～5月30日(金)
磯部範彦水彩展
代表 磯部 範彦



令和7年5月30日(金)～6月1日(日)
第81回 六酔会展
代表 久世 夢二



令和7年5月30日(金)～6月1日(日)
第83回 水曜会油彩画展
代表 吉川 トシ子



令和7年9月4日(木)～9月24日(水)
海津町絵画クラブ作品展
代表 横井 義秋



令和7年9月12日(金)～9月14日(日)
第37回 フォトクラブ・F写真展
代表 堀田 義郎



令和7年9月12日(金)～9月14日(日)
第15回 フォト写心写真展
代表 市村 茂雄



令和7年6月2日(月)～6月20日(金)
第7回 遊彩会展
代表 所 陽子



令和7年6月7日(土)～6月8日(日)
第47回 清泉社書展
代表 浅野 誉子



令和7年6月7日(土)～6月8日(日)
第32回 清篆会展
代表 増井 茂



令和7年11月15日(土)～11月21日(金)
藤原能面教室作品展
代表 石飛 智



洋画 デザイン 書道
写真 彫塑工芸 合同

おくやみ
名誉会員 和田 能玉 様 (洋画) 第12代理事長
会 員 山口 香風 様 (書道) 理事
ご冥福をお祈り致します。

